

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7805	(H.24)No.	7805
-----------	------	-----------	------

事務事業名	し尿処理場費(経常分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 26 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施策	3 廃棄物処理
	小施策	2 し尿・汚泥の適正処理
重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	902601
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 環境衛生費	し尿処理場費(経常分)	
項 清掃費	(小事業名)	
目 し尿処理場費	し尿処理場費(経常分)	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>管内のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>浄化センターの適正な運転管理及び施設の維持管理に努めるとともに安全で衛生的な施設運営をはかる。</p>
--	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・施設の適正な管理運用 主な維持管理経費 燃料費 32,121千円 光熱水費 29,006千円 定期修繕等 50,987千円 薬品費 11,428千円 運転管理委託 61,950千円 汚泥処理委託 8,951千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・施設の適正な管理運用 主な維持管理経費 燃料費 26,000千円 光熱水費 27,756千円 定期修繕等 57,000円 薬品費 14,000千円 運転管理委託 62,950千円 汚泥処理委託 10,939千円 機能検査 1,876千円	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	198,687千円	205,884千円	198,064千円	198,064千円	
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(し尿処理手数料)	7,083	6,600	6,600	6,600	
一般財源	(0) 191,604	199,284	191,464	191,464	0
人工数					
職員	0.76人	0.76人	0.73人	0.73人	0.00人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
概算人件費	(0千円) 5,548千円	5,548千円	5,329千円	5,329千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 204,235千円	211,432千円	203,393千円	203,393千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	kl	7,261	5,988	5,471	4,094	1,971
	実績						
活動指標	目標	kl	35,566	39,400	38,506	30,772	25,769
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
管内のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することができた。	引き続き、浄化センターの適正な運転管理及び施設の維持管理に努めるとともに安全で衛生的な施設運営をはかる。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・施設の老朽化に伴い、大規模改修を含めた施設の方向性の検討を行わなければならない。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

公共下水道の進捗状況に応じた適正な管理運営を行う。

特記事項